



げんきな子 がんばる子 やさしい子

園だより

10月号

北区立さくらだこども園
園長 西澤 尚子

楽しい！ は積み重ねの先に見つかる。

まだ暑さは残るものの、ようやく朝夕の風が爽やかに感じられるようになりました。日暮れが早くなってきて、虫の音が聞こえるようになり秋になったことを感じます。子どもたちにとっては戸外で思い切り体を動かすことが心地よく楽しめる季節です。

さくらだこども園では毎年、10月の半ば頃に運動会をしています。今年度も、9月の初めにプール遊びが終わった頃から、園庭で走ったり、ボール遊びやアスレチックごっこをしたり、様々なリズム体操をしたりと、いろいろな動きを体験できるように機会をつくってきました。いろいろな運動遊びを楽しんで、体を動かすことが好きになった姿をおうちの人に見てもらってもいいな、見てもらいたいなと思えるようになったところで、子どもたちと担任とで話して「みんなのおうちの人に見てもらおう運動会をしよう！」となります。運動会のためにリズム表現やかかけっこ、リレーをしているわけではありません。

9月に新しく「スーパーヒーロー体操」という体操を取り入れました。全学年ほぼ一緒に踊り始めたのですが、朝の預かりの時間にも時々踊っているためか、はな組も楽しそうに踊る幼児が増えてきました。テンポがいいのでリズムに乗りやすいのですがその分動きは速くなり、大人でも(園長だけか…?)なかなか覚えられないでいるのですが、子どもたちはヒーローになりきってポーズを決め、踊っています。ポーズがいくつもあるので、初めは見ているだけで全く動かない幼児もいました。それが、友達や保育者が楽しそうに、またかっこよく踊っているのを見ている内に、好きなポーズだけはしてみる、なんとなくリズムに合わせて体を動かしてみる…と一緒に踊る部分が少しずつ増えていき、リズムに合った動きをみんなと一緒にすることを楽しむ様になってきています。幼児自身が「楽しい！」と思えるまでには少し時間がかかることもあります。それでも、楽しい、好きだなと思えることが増えていくといいとの願いから、保育者は積み重ねたくなる様に気持ちを支え、方法を伝えています。友達と協力しての5歳児のリレーやリズムも、力を合わせる喜びが感じられるのは積み重ねてきたからこそです。

今年も運動会は学年毎になりますが、前年からの子どもたちの積み重ねを想像し、子どもたちの成長、楽しさへの共感を言葉に出して伝えていただければと思います。



—今月の指導のめあて—

- 〈3歳児〉
 - ・保育者や友達と一緒にのうれしさを感じながら、かけっこやリズム遊びなど体を動かして遊ぶことを楽しむ。
 - ・身近なものを身に付けたり、自分なりに動いたりして、なりたいものになって遊ぶことを楽しむ。
 - ・木の実で遊んだり、虫を見たり、季節の食べ物を知ったりして秋の自然に親しむ。
- 〈4歳児〉
 - ・保育者や友達と一緒に伸び伸びと体を動かしたり、自分のしたいことを繰り返し楽しんだりする。
 - ・運動会の取り組みの中で、学年や学級のみinnで活動することを楽しむ。
 - ・葉や木の実など、園庭の自然に触れ、季節の変化を感じたり、遊びに取り入れたりする。
- 〈5歳児〉
 - ・遊びや生活の中で必要なことを考え、自分から行動しようとする。
 - ・運動会の取り組みの中で、伸び伸びと表現したり、自分の力を発揮したりする充実感を味わう。
 - ・共通の目的に向かって、友達と力を合わせて取り組んだり競い合ったりする中で、満足感や充実感を味わう。